

令和6年度 光ヶ丘中学校の教育

校訓 われらとともに 現在を生きる 未来をみつめ

学び続ける生徒
を育てる学校づくり

未来に生きる自己指導力
を育む学校づくり

めざす生徒像

光り輝く光ヶ丘中生徒

生涯を通して学び続ける生徒（知）
豊かな感性と正しい実践力をもつ生徒（徳）
心身ともにたくましい生徒（体）

豊かな心・望ましい人間関係
を育む学校づくり

家庭・地域とともにある
学校づくり

【具体的方策】※ 斜体は本年度の重点目標

「学び続ける生徒を育てる学校づくり」

- 全ての生徒の学びを保障し、仲間とともに考え、新たな学びや豊かな発想が生まれる「深い学び」ができる授業づくりを追究する。
 - ・ 各教科の役割や目標から授業のねらいを明確にし、「分かった」「できた」「楽しい」が実感できる授業づくりを進める。
 - ・ 分からなさからスタートし、主体的・対話的な授業の展開を目指す。自己の学びや成長を自覚し、新たな課題意識を持てるよう「ふり返り」を大切に、「深い学び」につなげる。
 - ・ ICT機器を「代替」「拡張」の道具から、協働的・創造的な学びを生み出す「変容」への道具となるよう活用方法を模索する。

「未来に生きる自己指導能力を育む学校づくり」

- 校風「自主自立」の精神の自覚を重視し、体験を取り入れた教育活動を通して豊かな感性を培い、思考力・判断力・表現力といった実践的な資質の育成を図るとともに、自己有用感をもてる生徒を育てる。
 - ・ 学校行事を中心に、生徒自身が考え、判断する機会を意図的に与え、生徒自身の「思い」を具現化する取組を通して主体性を磨き、*成就感・自己有用感を高める。*
 - ・ 集団宿泊的行事や遠足・総合的な学習の時間など、校外での活動の計画と実践を通して、社会の一員としてふさわしい判断力・実践力を涵養する。

「豊かな心・望ましい人間関係を育む学校づくり」

- よりよい学年・学級集団づくりを進め、多様な活動を通して互いに認め合うことができる人間関係の構築に努める。
 - ・ 受容・共感・傾聴をベースに学級活動の充実を図り、コミュニケーション能力の向上に努める。
 - ・ 自分事として考え、議論する道徳の授業づくりの実践に努め、自他を大切にする心の育成を図る。

「家庭・地域とともにある学校づくり」

- 情報公開を積極的に進め、地域と連携し、家庭・地域とともにある学校づくりを推進する。
 - ・ 学校運営協議会やPTA、健全育成会議などの機会を通して双方向での意見交換を積極的に行い、相互理解に基づく学校づくりに努める。
 - ・ ホームページ、各種新聞や通信を通して、教育活動の様子を積極的に発信する。
 - ・ 学校評価の分析結果をもとに、教育活動の充実と運営の効率化を図りつつ、授業力、学級・学年経営力、生徒指導力を向上させ、働き方改革をすすめる。